

(様式2)

学校関係者評価報告書

西条高等学校 全日制・定時制
学校番号(9)

評価実施日		令和 5年 2月 21日(火)	
	氏 名	所 属 等	備 考
委員	年森 恭子	愛媛県教育会 評議員	
	松井 直樹	西条市立西条北中学校 校長	
	曾我部保次	西条市総合文化会館 館長	
	高橋 宏幸	西条高等学校PTA 会長	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>①SSHについて SSHとして取り組んだ5年間の成果をこれからの教育活動にどのように生かしていくべきかを教職員全員が理解して取り組まなければならない。 SSHの継続を期待する。</p> <p>②進路実現について 西条地区から市外へ生徒が流出しないよう西条高校の魅力を高めていく必要がある。そのためには生徒の進路実現への期待が大きい。文系の難関大学への合格者を出すことが大きな意味をもっている。</p> <p>③学校のPRについて 学校のアピールに努めることが重要である。言葉で具体的に分かりやすく伝えることの必要性が高まっている。</p> <p>④ICTの活用について ChatGPTなどのAI技術への対応を検討しておく。Wi-fi環境の整備や全ての教員が端末を使って指導できる力を付けておくことが必要である。</p> <p>⑤定時制について 定時制については、学校行事出席率、生徒会行事出席率等が大幅に伸び、今年度十分な成果を上げている。 運動会では生徒と教師が一体となって行事を盛り上げていた。 生徒の作文に感動した。</p>	<p>①SSHについて 西条市との連携を図り、SDGsを柱にしてSSHについて継続して申請をしている。5年間の成果を次年度以降にも生かした取組にしていく。</p> <p>②進路実現について 国際文理科への改編、SSH事業の指定などを受け、本校の国公立大学合格者数、難関大学合格者数は飛躍的に伸びている。文系についても実績が出ており、市内中学校、地域への本校の進路実績の浸透を図る必要がある。</p> <p>③学校のPRについて ホームページについて、学校の魅力が伝わりやすいような工夫をしていく。</p> <p>④ICTの活用について 教職員のICT活用のスキルアップを図るための研修をさらに充実させる。</p> <p>⑤定時制について 生徒たちの日々の努力が実を結んで、日々の学校生活や進路実現においても良い評価をいただいた。今後も、生徒の状況を十分把握して、生徒にとって必要とされる教育活動を推進していきたい。</p>